



2017年7月1日  
**第610号**  
 1部10円(組合員は組合費を含む)  
 郵便振替00960-7-117274  
 Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合  
 Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)  
 発行人 大橋 裕子  
 連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

# 夏期一時金団交終結 権限移譲による結果は如何に？

今年度から始まった指定都市への権限移譲に伴い、組合は5月2日の対堺市を皮切りに大阪府、大阪市とそれぞれ夏期一時金団交を行いました。同じ大阪府の公立学校で働く教職員でも、大阪市、堺市ではそれぞれ賃金を含む労働条件が独自に交渉されることとなりました。

夏期一時金の支給月数は、府、堺市、大阪市(以下、各自治体)ともに横並びの結果となりました。しかし、各自

自治体との交渉の回答には多くの違いが見られました。

**大阪市、臨時講師の「1日空白」は欠勤扱い**

組合が強く要求してきた講師の「1日空白」問題の解決およびそれに伴う一時金支給率の引き上げについて、大阪市では「1日の欠勤として扱う運用により、期末手当100%、勤勉手当を98%とする」と回答しました。これは、府がそれぞれ80%、95%として

いることと比較して大幅な改善と言えます。このことについて府を追及すると、「知らなかった」と驚きの表情を見せ組合を驚愕させました。

**堺市の「評価・育成システム」は？**

権限移譲により府立学校条例のしぼりのない「自由都市」堺では、新たな評価制度がこの間、提案されてきました。そして「授業アンケート」は評価制度から切り離され、評価結果は一時金への反映のみとしています。「授業アンケート」については今後の組合への提案を注視して行く必要が

あります。

それぞれの自治体との一時金団交を終え、今までと同様の回答を繰り返しておけばよいという府の「放漫」さが新たな団交相手となった堺市、大阪市と比較して際立ちます。権限移譲の是非はさておき、私たち労働者も勤務労働条件が変わっていくということに注目していかなければなりません。

酒井さとえ(書記長)

<再任用以外>	期末手当	1.225ヶ月	勤勉手当	0.82ヶ月
<再任用>	期末手当	0.65ヶ月	勤勉手当	0.386ヶ月

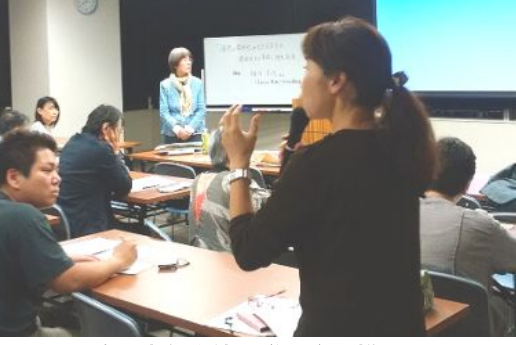
(いずれも評価結果Aの場合)

# 吹田支部 今年度は小学校「道徳」教科書採択の年！！

吹田支部はこれまで、教科書採択年に調査員や意見交流会で現場の意見反映させる、市教委交渉で行政の課題追及、学習会で教科書採択の問題点を市民に提起、パブコメに積極的に参加、教育委員会での傍聴を行う等の取り組みを行ってきました。

小学校道徳本採択の今年度は、相可文代さん(子どもたちに渡すな!あぶない教科書大阪の会)を講師に招き、30人余りの教職員や市民が参加する学習会を行いました。道徳が教科化された問題点・課題を共有すること、また現場の意見を尊重させる取り組みを若手教職員に継承することを目標にしました。

学習会では、教育出版の道徳本が日本会議系の学者や現場教師によって編集され、育



吹田支部主催の学習会の様子

鵬社の小学校道徳本が発行されていない中、ダミーとして発行されたものと指摘されました。また、見本教科書の閲覧とパブコメの参加を積極的にしていこうと確認しました。

また、吹田市の今年度の採択の流れは大筋において変更されていませんが、日程が一切公表されていません。2年前の中学校教科書採択時には、開かれた採択をめざし、半年間の日程は公表し、採択を行う教育委員会は、抽選で傍聴

者を絞る方式から100人の入場を認めました。今年度、公表しない理由に、教科書会社による金品の贈与で処分者が出たことをあげ、調査員、選定委員会のメンバーが特定されないように公表しない、ということです。

教科書採択は公開が大原則になっています。2年前の教育委員会では、指導主事が、選定委員会の答申と異なる説明を委員会で行ったことが判明、他市においても秘密裏に様々な圧力をかける事案が起きています。教育委員会の日程は「3日前にホームページに公表」。この回答は、後日

変更して従来通り、日時だけは1か月前に公表しましたが、案件、場所は「3日前」という姿勢です。これでは採択の大原則が崩れます。これまで築き上げた吹田の採択の原則を崩す動きに抗議して、案件、場所の早期公表を求めます。

吹田に限らず、多くの市町村で広報6月号に教科書の閲覧記事が出ていますが、道徳本の教科書採択のための展示及びパブリックコメントを呼びかけた内容の記事になっているかチェックしてみてください。教科書採択は、情報公開された状態で行われるべきです。

峰岡和義(吹田支部)

## 当面の日程

7月6日(木)18時半~ 中之島公園水上ステージ  
 7・6戦争あかん!ロックアクション  
 7月22日(土)14時~ エルおおさか5階研修室2  
 大阪全労協第28回定期大会

# 全労協 組織化合宿 職場の仲間とつながることを諦めるな!

6月25・26日の2日間、箱根にて、全労協第12回組織化合宿が開催されました。冒頭、司会の東京東部労組・菅野委員長が、「5月の電話相談は900件。その多くがパワハラ。しかし、労働組合に入って職場を変えようにはなかなか繋がらない」と話された。これほど労働環境の悪化が叫ばれながらも、組織率は更に減少という厳しい状況を受け止めながら、合宿は始まりました。

5つの労組から、現場での組織化について報告が行われました。7カ国の外国人労働者を組織する静岡県共闘・KGU労組は、外国人労働者には最低賃金も支払わない、有休も与えない等の状況を是正させるために組合を結成。結



5労組によるパネルディスカッション

成後、3名が解雇に。申請を認められて3ヶ月帰国した外国人組合員も、日本に帰って来たらロックアウトされた。国籍にかかわらず、労働者として当然の権利を勝ち取るために奮闘している様子に、今後更に、異なるエスニシティを持つ労働者たちとの団結が求められる時代が来ることを実感しました。

ユニオン北九州・臼杵運送分会からは、会社と癒着している御用組合が、配車等で高

待遇を受けいていることに怒りを覚え、労働組合に加入。組織拡大を実現している勢いある報告を聞かせて貰いました。ハンドルを握る様子をデザインした分会のマークを作り、仕事中、フロントガラスに置いて会社に団結をアピールしているとの元気が出る報告でした。



分会のマークを紹介する真綱支部委員長

自治労・公共サービス清掃労働組合ヨドセイ支部からは、親会社である西武鉄道が、産

廃業界最大手の会社に譲渡されたのを契機に、非正規契約社員の組織化に取り組んだ様子について報告がありました。掲げる目標は、「労契法18条5年で無期雇用の前に全社員正規化」です。正規労働者が非正規労働者と共に立ち上がる、この姿勢こそが、今最も労働組合に求められていることではないでしょうか。

賃上げ、正規化、様々な問題を労働組合で解決している報告を聞き、職場の仲間と労働組合を作り、労働運動によって勝ち取っていきこう!と伝えていきたいという思いを強くしました。職場の人と繋がることを諦めない、ここが基本です。 大椿裕子(執行委員長)

## 夏の 2017 全学労連・全学労組 学校労働者全国集会 (第46回全交流・神戸)

会場: アリソンホテル神戸  
梅田 特急で20分少々 三宮 9分 みなとじま 徒歩3分

<b>&lt;プログラム&gt;</b>		
<b>8月19日(土)</b>		
受付 12:00	集会開始	13:00
【全体集会】		
1. 開会 労組・労連より1名ずつ、あいさつ		
2. 問題提起		
「勤務時間問題・働き方改革?」	7月89 (東京)	
「政令市費化」	横校労 (横浜)	
「森友・教育勅語・道徳教科化問題」	教育合同 (大阪)	
「政令市と共同実施」	全学労連	
「総括的な教育改革」	全学労連	
質疑応答・討論	50分	
休憩	10分	
3. 闘争報告	40分	全学労組 & 全学労連
4. 閉会	17:00	
【夜の懇親会(交流会)】 18:00~20:00		
<b>8月20日(日)</b>		
【分科会】	9:00~10:50	3会場
【全学労組総会】	11:00~11:50	分科会報告 総括討論 会計報告 会計監査報告
【閉会行事】	11:50~12:00	来季開催地からのメッセージ

20日午後、県民会館にて「森友関連」講演会  
講師: 木村真氏(豊中市議) 講演会参加費 ¥500  
参加費: 全日程参加 ¥16,000 部分参加OK 集会参加 ¥3000  
懇親会 ¥4500  
宿泊 ¥8500  
資料代 ¥1000

参加集約: 7月14日(金)までをお願いします。  
できれば事務所で参加確認票に必要事項をご記入ください。  
難しい場合は、で事務所に参加連絡をください。  
費用は、8月19日(金)集会当日、受付で回収します。

リーフレットは、7月早々に配布予定です。

明治以来の日本の政治の特徴は「無責任の体系」と言われる それは「天皇の御稜威(みいつ)」つまり「御威光(ごいこう)」への恣意的な忖度の連鎖であった 現在も「総理のご意向」がまかりとおる政治 その意味で、明治から現在まで日本の政治は連続している

### 文化おちこち

#### ブータンだより その5



ブータンの市場の様子

ブータン社会は、インドの影響が色濃く、社会規範、文化、政治、経済システムなど多くのことが、インド基準で動いている。仏教とヒンズーの違いはありますが、ブッダは、ヒンズーでも、神のうち一人であるので、インド系の人にとっても、あがめることに、抵抗はないようです。

ただ、インドの悪習がブータンにもいきわたっているもので、なかなか、ごみを減らすとか、運転マナー向上とかが難しい状況があります。

それでも、環境という科目が必修科目で教えられ、運転に関しては、JICAから警察に派遣された人の努力で、マナーがすごく向上した。

万事、こんな感じで、日本

人が来れば、かなりのことが向上するが、帰れば元の木阿弥と化すことが多く発生する。

本当に、ブータンがインドと中国の間でなく、日本の近くだったらよかったのに、としみじみ言う人もいます。

でも、日本の近くだったら、侵略されていた可能性も思うと、複雑な気持ちになってしまう。

若い国のブータンは、変化も早く、ほんの10年で、隔世の感がする。何よりうらやましいのは、政治家の質が良い。国有地をお友達に格安で売ったりする人はいないし、軍隊も3千人だけ。

隣国がすでにブータンの一部をかすめ取ったが、それに対して軍力を増強しようとする世論を形成しようとする新聞もない。軍隊があっても弱いので、軍力で解決しようと思う人もいない。

大国中国とインドに挟まれた小国の生きる道、選挙にLPガスの輸出をだしに、干渉してくるインドにもめげず、政権を取った現政府は、以前の政府より優れた人権意識をもっている。日本のお手本となりそうです。ホセ



マラソン大会の様子



同僚の家でのパーティーの様子